



2021年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年5月14日

上場会社名 リファインバース株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6531 URL http://www.r-inverse.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 越智 晶
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 青木 卓 TEL 03 (5643) 7890
 四半期報告書提出予定日 2021年5月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年6月期第3四半期の連結業績（2020年7月1日～2021年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期第3四半期	1,932	△12.0	△90	—	△107	—	△105	—
2020年6月期第3四半期	2,195	16.6	△78	—	△96	—	△98	—

(注) 包括利益 2021年6月期第3四半期 △105百万円 (—%) 2020年6月期第3四半期 △98百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年6月期第3四半期	△32.60	—
2020年6月期第3四半期	△32.33	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年6月期第3四半期	2,946	432	14.3	127.69
2020年6月期	2,872	337	11.4	107.42

(参考) 自己資本 2021年6月期第3四半期 421百万円 2020年6月期 327百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年6月期	—	0.00	—	—	—
2021年6月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年6月期の連結業績予想（2020年7月1日～2021年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,989	11.0	102	—	61	—	20	—	6.62

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 2021年6月期の連結業績予想の1株当たり当期純利益は、新株予約権の行使を含めた予定期中平均株式数により算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年6月期3Q	3,299,950株	2020年6月期	3,049,950株
② 期末自己株式数	2021年6月期3Q	129株	2020年6月期	129株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年6月期3Q	3,237,777株	2020年6月期3Q	3,049,827株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きくなる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料は当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(会計上の見積りの変更)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9
3. その他	9
継続企業の前提に関する重要事象等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結会計期間において当社グループは、依然として新型コロナウイルス感染症が終息する見通しが立たない中、既存事業で徹底したコスト削減を進めながら、今後の成長の核となる再生樹脂製造販売事業の事業領域の拡大に向けて、持続的な成長のための事業基盤の強化に努めてまいりました。

2019年6月期より新規事業への先行投資による営業赤字が継続しておりましたが、当第3四半期連結会計期間では新規事業が軌道に乗り始めたこと及び既存事業の収益力の向上によって連結営業黒字に転換いたしました。

既存事業においてはカーペトリサイクル事業ではコロナ禍でコストコントロールを徹底してきたことによる原価低減効果および原状回復工事の増加により廃カーペッタイルの受入処理量が増加したことなどにより利益が増加しております。また産廃事業においては当第3四半期において過去最高の受注件数を獲得したことで売上、利益ともに大きく増加しております。

新規事業では高機能樹脂事業において工場の生産性が継続的に改善してきており、それに伴いサイクルナイロン樹脂「REAMIDE（リアミド）」の生産高及び売上高が大きく伸びており、当事業における赤字が大幅に縮小しております。また漁網リサイクルに関するライセンス契約に伴う売上やリサイクルに関するコンサルティング受託による売上などソリューション事業の収益など各事業部門で売上・利益を伸ばした結果、当第3四半期連結会計期間において連結営業黒字に転換いたしました。

今後は新規事業においては先行投資フェーズから利益貢献フェーズへ移行する見込みとなっており、外部企業等との連携による取り組みも加速しており、更なる成長のための基盤は拡大しております。またカーペトリサイクル事業においては、オフィス等の原状回復工事の増加により廃タイルカーペットの受入処理量は増加していることに加えて2021年4月以降は処理受託の価格改定を行い安定した収益基盤の構築に努める予定です。また世界的なナイロン素材の不足の影響もあり、当社のリサイクルナイロン樹脂「REAMIDE（リアミド）」への引き合は増加しており、生産性改善による生産量の増加と原価低減を継続して進め、生産高及び売上高を更に増加させることで利益貢献事業へと進化させる予定です。さらに、ソリューション事業においてはライセンス契約やコンサルティング受託、設備販売、設備設計業務受託など収益源を広げた受注活動が進捗しており今後の収益増に貢献してまいります。

産業廃棄物処理事業においては、過去からの継続的な営業活動の強化が増加する原状回復工事の受注獲得につながり、四半期ベースでは過去最高の受注件数、売上、利益を達成し今後も積極的な営業活動を継続することで安定的な収益基盤の強化に努めてまいります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高1,932,340千円（前年同期比12.0%減）、営業損失90,268千円（前年同期は営業損失78,607千円）、経常損失107,624千円（前年同期は経常損失96,533千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失105,527千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失98,599千円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、記載のセグメント別の金額はセグメント間取引の相殺前の数値です。

① 再生樹脂製造販売事業

再生樹脂製造販売事業につきましては、当第3四半期会計期間において収益が大幅に改善いたしました。原状回復工事増加に伴う廃カーペッタイル受入処理量が増加し、廃棄漁網等をリサイクルしたナイロン樹脂

「REAMIDE（リアミド）」の生産性を改善することにより生産量増加による売上拡大とともにコスト圧縮によって赤字が縮小しております。ソリューション事業において、ライセンス契約、コンサルタントの受託などにより収益は増加しております。また、大日本印刷株式会社（本社：東京都新宿区／代表取締役社長：北島義斉）やアライアンス・フォー・ザ・ブルー（ALLIANCE FOR THE BLUE）* などの外部企業との連携も拡大、深化しており将来の成長のための基盤は拡大しております。しかし第2四半期までの落ち込みもあるため当第3四半期連結累計期間では、売上高、営業利益ともに前年同期比で減少となりました。この結果、売上高は657,200千円（前年同期比24.3%減）となり、セグメント損失は170,918千円（前年同四半期はセグメント損失118,030千円）となりました。

② 産業廃棄物処理事業

産業廃棄物処理事業につきましては、四半期ベースで受注件数及び売上、利益ともに過去最高を記録いたしました。解体工事から収集運搬・中間処理まで一括受注できる体制と小回りを利かしたサービスを強みに営業活動を強化してきたことが、増加する原状回復工事の受注獲得に大きく貢献しました。新型コロナウイルスの影響が未だ見通せない中、徹底したコストコントロールを実施したことにより収益力は向上しております。しかし第2四半期までの落ち込みもあり当第3四半期連結累計期間では売上高、営業利益ともに前年同期比で減少となりました。

この結果、売上高は1,285,234千円（前年同期比4.0%減）となり、セグメント利益は213,494千円（前年同期比15.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は1,139,807千円となり、前連結会計年度末（以下「前年度末」という）と比べ184,350千円増加しております。これは、主として受取手形及び売掛金が139,093千円、未収還付法人税等が30,649千円増加したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は1,779,953千円となり、前年度末と比べ96,591千円減少しております。これは、主として有形固定資産が89,504千円減少したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における繰延資産は26,495千円となり、前年度末と比べ13,535千円減少しております。これは、開業費の償却によるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は710,588千円となり、前年度末と比べ16,214千円増加しております。これは、主として支払手形及び買掛金が37,492千円増加、短期借入金が75,000千円減少、1年内返済予定の長期借入金が15,920千円増加、未払金が39,497千円増加したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は1,803,360千円となり、前年度末と比べ37,078千円減少しております。これは、主として返済により長期借入金が24,414千円減少したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は432,308千円となり、前年度末と比べ95,087千円増加しております。これは、主として第三者割当増資及び減資により資本金が289,594千円、資本剰余金が296,607千円それぞれ減少し、利益剰余金が679,924千円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年6月期の通期の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の経営成績や今後の進捗状況を踏まえて現在精査しております。当該精査の結果、連結業績予想の数値を修正すべきと判断した場合は速やかに開示いたします。なお、新型コロナウイルスによる影響は2021年6月期が終了するまでは継続するものと見込んで連結業績予想を算定しております。

* ALLIANCE FOR THE BLUE

石油化学をはじめ、日用品・飲食品・包装材メーカー・小売・リサイクル等、多業種が連携し、商品開発・共同研究等を促進するため、日本財団が発起人となり設立されたアライアンスです。新たな海洋ごみの発生防止、既に発生した海洋ごみの削減をテーマに、各企業と協働し、商品の企画から流通・製造・消費・処分・再利用といった一連の各過程で一貫した対策を行い、資源循環型社会・サーキュラーエコノミーを実現するモデル構築を目指しています。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	460,770	431,745
受取手形及び売掛金	277,392	416,485
商品及び製品	149,771	172,608
仕掛品	2,057	26,093
原材料及び貯蔵品	41,766	40,361
前払費用	19,992	16,039
未収還付法人税等	—	30,649
その他	5,064	6,817
貸倒引当金	△1,358	△993
流動資産合計	955,457	1,139,807
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	946,810	951,172
機械装置及び運搬具	1,111,097	1,131,866
工具、器具及び備品	83,957	91,645
土地	102,100	102,100
リース資産	234,675	274,944
建設仮勘定	13,889	10,926
減価償却累計額	△865,895	△1,025,524
有形固定資産合計	1,626,635	1,537,130
無形固定資産		
無形固定資産	14,952	21,124
投資その他の資産		
投資有価証券	20,000	20,000
繰延税金資産	116,597	116,597
敷金及び保証金	100,491	89,849
その他	9,293	9,568
貸倒引当金	△11,424	△14,316
投資その他の資産合計	234,957	221,698
固定資産合計	1,876,545	1,779,953
繰延資産		
開業費	40,030	26,495
繰延資産合計	40,030	26,495
資産合計	2,872,032	2,946,256

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	37,496	74,988
短期借入金	75,001	—
1年内返済予定の長期借入金	305,272	321,192
リース債務	42,820	49,161
未払金	121,066	160,564
未払費用	63,663	56,772
未払法人税等	9,269	152
未払消費税等	34,297	26,013
賞与引当金	—	7,695
その他	5,486	14,047
流動負債合計	694,373	710,588
固定負債		
長期借入金	1,501,298	1,476,884
リース債務	117,987	118,313
資産除去債務	153,917	154,597
繰延税金負債	24,252	22,450
その他	42,983	31,114
固定負債合計	1,840,438	1,803,360
負債合計	2,534,812	2,513,948
純資産の部		
株主資本		
資本金	439,219	149,625
資本剰余金	487,258	190,650
利益剰余金	△598,713	81,210
自己株式	△142	△142
株主資本合計	327,621	421,344
新株予約権	9,598	10,963
純資産合計	337,220	432,308
負債純資産合計	2,872,032	2,946,256

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2021年3月31日)
売上高	2,195,054	1,932,340
売上原価	1,733,159	1,449,449
売上総利益	461,895	482,890
販売費及び一般管理費	540,503	573,159
営業損失(△)	△78,607	△90,268
営業外収益		
受取利息	105	4
助成金収入	9,802	21,458
受取保険金	2,091	—
その他	1,753	1,917
営業外収益合計	13,752	23,380
営業外費用		
支払利息	17,465	20,563
開業費償却	13,535	13,535
その他	677	6,638
営業外費用合計	31,678	40,737
経常損失(△)	△96,533	△107,624
特別利益		
固定資産売却益	—	79
新株予約権戻入益	208	1,983
特別利益合計	208	2,063
特別損失		
固定資産売却損	591	—
固定資産除却損	—	0
特別損失合計	591	0
税金等調整前四半期純損失(△)	△96,916	△105,561
法人税、住民税及び事業税	3,455	1,767
法人税等調整額	△1,772	△1,801
法人税等合計	1,682	△33
四半期純損失(△)	△98,599	△105,527
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△98,599	△105,527

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2021年3月31日)
四半期純損失(△)	△98,599	△105,527
四半期包括利益	△98,599	△105,527
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△98,599	△105,527
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年7月1日 至 2021年3月31日)

株主資本の金額の著しい変動

当社は、2020年9月7日付で、三菱ケミカル株式会社から第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、第1四半期連結累計期間において資本金が99,625千円、資本準備金が99,625千円増加し、第1四半期連結会計期間末において資本金が538,844千円、資本剰余金が586,883千円となっております。

また、2020年9月30日開催の第17回定時株主総会において、資本金及び資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分について承認可決され、2020年11月1日にその効力が発生しており、資本金が389,219千円、資本剰余金が396,232千円それぞれ減少し、繰越利益剰余金に振り替え、欠損補填に充当いたしました。

その結果、当第3四半期会計期間末において、資本金が149,625千円、資本剰余金が190,650千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルスの今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	再生樹脂製造販売事業	産業廃棄物処理事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	859,772	1,335,282	2,195,054	2,195,054
セグメント間の内部売上高又は振替高	8,323	2,973	11,296	11,296
計	868,095	1,338,255	2,206,351	2,206,351
セグメント利益又は損失(△)	△118,030	253,132	135,102	135,102

2. 報告セグメント利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	135,102
セグメント間取引消去	—
未実現利益の調整額	676
全社費用(注)	△214,385
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△78,607

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術試験費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年7月1日 至 2021年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	再生樹脂製造販売事業	産業廃棄物処理事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	650,012	1,282,327	1,932,340	1,932,340
セグメント間の内部売上高又は振替高	7,188	2,906	10,094	10,094
計	657,200	1,285,234	1,942,435	1,942,435
セグメント利益又は損失(△)	△170,918	213,494	42,576	42,576

2. 報告セグメント利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	42,576
セグメント間取引消去	54,114
未実現利益の調整額	△3,567
全社費用(注)	△183,391
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△90,268

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術試験費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。